防衛同盟と安全保障

a)

　防衛同盟を結ぶ目的は，有事に他国の軍事協力を得ることで自国の戦力を上げ，潜在敵国の現状変更行動に対し一般抑止，緊急抑止することにある．

　しかし，有事における他国の軍事介入には防衛同盟は必要ない．国際紛争時には有志連合の形成が珍しくなく，同盟がなくとも有事での他国の軍事協力を得ることは可能である．また，実証的な検証の結果，同盟は拡大抑止に寄与しない．加えて，同盟による誓約は一定の離反率があるため，確固たる信憑性がない．このように，同盟による利益は判然とせず，目標を達成するのに有効でない．

　一方で，同盟には多大なコストがかかる．他国の国際紛争に巻き込まれる危険や平時から防衛機能を整備する財政コスト，心理コスト，政治コスト等がある．よって，防衛同盟は効用より大きい費用がかかるので，非合理的なパズルである．

b)

　では，なぜ防衛同盟は結ばれるのか．それは，同盟の締結が国家間の情報の不確実性を払拭し，同盟国同士の有事の際の介入というコミットメントを伝達する有効な手段だからである．同盟は敵国に対し，同盟国の共通の利益，有事の際の同盟国の戦力の上昇，敵国の戦争コストの増大という情報を伝達する．これにより，潜在敵国が挑戦行動をとる動機を失わせ挑戦行動を抑止する事が目的である．しかし，これらの情報が空脅しでないことを示すには，有事の際に実際に介入する意思と能力を持たない国家は取れない行動を取る必要がある．つまり，高コストな同盟の締結である．同盟には他国の戦争に巻き込まれる，同盟国のより挑戦的な対外政策を誘発して戦争の危険を高める等のリスクが伴う．また，平時から共同軍事演習といった財政コスト，基地問題や国内批判といった政治コストがかかり，更には有事の際に同盟に基づく介入を不履行したら将来の自国の信憑性が低下する評判コストがかかる．これらのコストは，介入の意思と能力を備えた国家のみ負担できる．  
　以上より，同盟は高コストであるからこそ介入コミットメントに信憑性を持たせる有効なシグナルとなる．よって，合理的な国家は高コストな同盟を締結する.

c)

　上述の通り，防衛同盟はその維持にコストがかかる故に有効なシグナルとして機能する．日米同盟では米国が日本に対し片務的に防衛の責任を負っている為，日本にとって日米同盟の維持にはエントラップメントなどのリスクはない．日本にとって一番のコストは基地の密集する沖縄における国民の心理的コストと，それによる沖縄県民の本土・政府への不信，政治的反対といった政権を解体するほどの政治コストである．このコストが日米同盟に信憑性を与えている．

　米国は同盟の片務性への反論等の政治コスト，異文化での軍の心理コストを抱える．しかし，最たる費用はグアムがあり，米国の影響下にある太平洋へ中国が進出した際，沖縄が防御網として機能する事により日米同盟が拡大抑止ではなく直接抑止に転ずる事にある．直接国益を守るので費用も高い．

　高い費用は信憑性に寄与する為，沖縄の米軍基地は維持される．

d)

　上では，防衛同盟が拡大抑止に寄与するから国家は膨大な費用を払って同盟を結ぶと論じた．しかし，防衛同盟が一般抑止に寄与する実証的証拠はない．同盟では，有事の際の同盟国の戦力上昇から平時の交渉力も上がり，現状変更行動の抑止が目的であるはずの同盟国に挑戦行動のインセンティブが生まれる．敵国もこれを感知する為，同盟国は挑戦行動に出ない事をコミットメントとして示し，敵国に安心供与をする必要がある．しかし，敵国にとって同盟は戦闘の準備を意味し，防衛同盟と攻撃同盟は区別し難い事から，同盟国による安心供与は信憑性がない．敵国は力の均衡を取り戻す為に自身も同盟を結び，両国は安全保障のジレンマに陥る．よって，全ての国が同盟を結ぶ為，力は拮抗して抑止力は弱まり，一般拡大抑止の効能は広いレベルでは観察され難い．

A close up of a map

Description automatically generated　緊急拡大抑止については，緊急の有事において同盟締結は同盟国が敵国の挑戦行動に対し抵抗を選択する確率を高める(Smith, 1995)．緊急拡大抑止が焦点となるのは，右記のゲームの木で赤く示された敵国の情報集合である．ここで， S1がS2と同盟を結んでいなければ，戦力不足により，敵国の挑戦行動に対して譲歩を選択する．しかし，S1が同盟関係にあると，事前に巨額の共同軍事演習等の埋没コストを払っており，譲歩すれば観衆費用が発生する為，抵抗へと手が縛られている．なので，同盟国はそもそも緊急抑止の局面へ進展しやすく，武力衝突へ通じやすい．よって，実証的には同盟は緊急拡大抑止に逆効果のように映る．

　以上から，同盟は一般抑止と緊急抑止に寄与していないように写る．しかし，安全保障ジレンマの中で自国のみ同盟を組まないことは他国からの挑戦行動に自国を晒す為，国家にとって同盟を結ぶ事は合理的な判断である．これが防衛同盟のパズルに対する合理的な国家の解である.

(本文1999字)

参考文献

Smith, A. (1995). Alliance formation and war*. International Studies Quarterly, 39*(4),405*.* https://doi.org/10.2307/2600800

Snyder, G. H. (1984). The security dilemma in alliance politics. *World Politics, 36*(4), 461-495. https://doi.org/10.2307/2010183